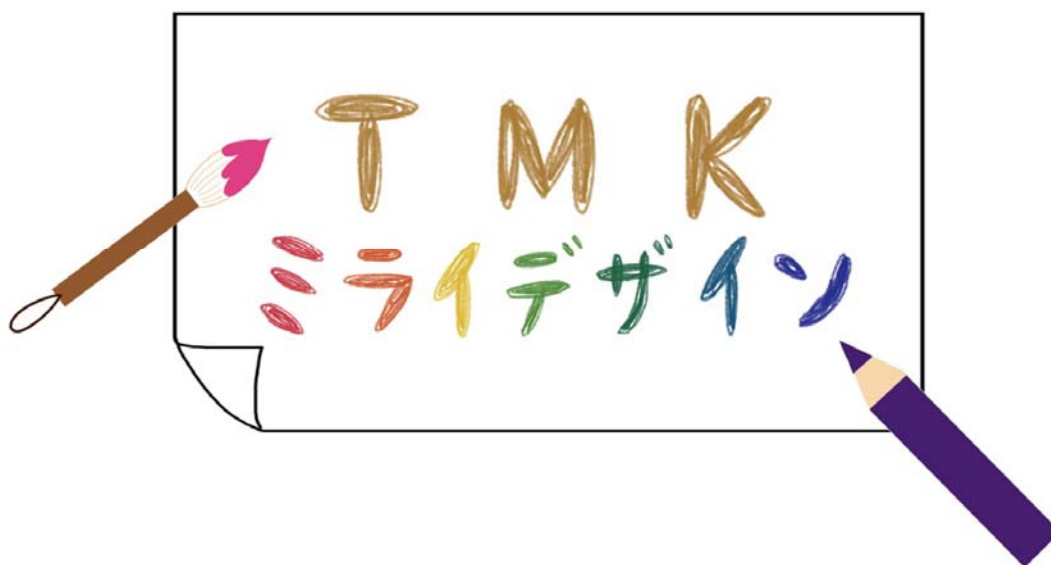


TMK ミライデザインプロジェクト

玉城町 平成 31 年度 第 11 号

下外城田地区明るい未来づくりに関する調査研究業務報告書



皇學館大学教育開発センター 准教授 池山敦

令和 2 年 3 月

目次

はじめに	1
プロジェクト報告	2
（１）プロジェクトの背景	2
（２）地域課題の「見える化」の取り組み	3
（３）まちづくりアンケート	10
（４）継続的な支援	17
終わりに	18
引用文献	19
平成 31 年度下外城田明るい未来づくりに関する 調査研究業務 ワークショップ実施概要	20
下外城田地区 まちづくりアンケート	26
R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計	34

はじめに

コロナウィルスによる新型肺炎のニュースが世間を騒がせ、週明けより公立学校の休校の検討が行われている頃にこれを書いている。2011 年の東日本大震災により、我々は巨大地震と津波、そして原子力災害に恐れおののき、2018 年に西日本豪雨による水害に、そして 2020 年までもや見えない災害とも言うべき感染症の蔓延の脅威にさらされている。気候変動などの環境の変化と合わせて、今、我々が将来に向かって持続可能であるかを再度問い直されている。

玉城町で実施している本事業、「下外城田地区明るい未来づくりに関する調査研究業務（通称 TMK ミライデザインプロジェクト）」も 2 年を終えようとしている。伊勢志摩地域の小さな自治体としての玉城町における未来に向けた持続可能性を考え合う取り組みが本年も継続されたことにまずは感謝をしたい。わかりやすい数値にて結果が出にくい事業ではあるが、町執行部の理解に敬意を表したい。2 年目の本年度は昨年からの継続の 2 地区、岩出地区と宮古地区での支援に加えて小社、曾根、山岡、昼田の 4 地区を加え地域の未来を考える取り組みを実施してきた。本年は中学生以上の住民に対するアンケートも実施したので、本稿でも詳しく検討することにした。

昨年度も実施した地形模型作成は、今年度は精度を更に向上させ、等高線 1 m ピッチの模型を作成した。より高精度になったことにより、水害による浸水地域を 1 m 単位で確認することが可能になった。また、アプリ「マチシルクエスト」ではプレイヤーが自身のニックネームを登録し、自身で質問事項を追加することによりゲームの中に入り込むことのできる機能を追加した仕様となった。本報告書では昨年からの既存のものについてのバージョンアップした部分と今年度より新しく実施したものを詳しく報告することとした。

令和 2 年 3 月

皇學館大学教育開発センター准教授
池山敦

プロジェクト報告

(1) プロジェクトの背景

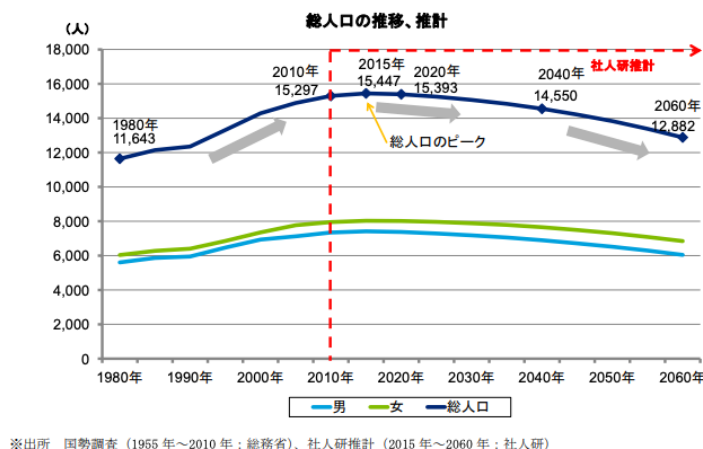


図 1 玉城町人口ビジョンより

り、町を大きく 4 つに分けるエリアとして町民に現在も認識されている。平成においては合併を行わず、単独で現在に至っている。農業が盛んな町であり、田丸城を頂く歴史豊かな町でもある。近年、久野家の家老であった金森得水の残した「旧金森別邸玄甲舎（茶室）」の修復が完了し、庭園整備及び集客観光施設が完成し、観光資源として期待がされている。

玉城町では平成 27 年に人口ビジョン及び総合戦略を策定し、本年改定作業に着手している。人口ビジョンに関しては、ほぼ平成 27 年の推計どおりに推移しており、見直さずにそのまま踏襲することが玉城町地方創生委員会のなかで確認されている。

しかし、上述 4 小学校区（田丸、外城田、下外城田、有田）地区別に人口、高齢化率などを詳細に見ていくと、それぞれに違いがあることがわかる。昨年度は地域別人口などにつき国勢調査を元にした将来人口推計を試みた。国勢調査は「町丁・字等別集計」の集計方法となっている。町丁・字等別集計とは「おおむね市区町村内の「△△町」、「○○2丁目」、「字□□」などの区域に対応しています。なお、町丁・字等別集計では、結果数値が著しく小さい地域については、秘匿処理を行い、近隣の地区に合算して表章しています。」〔総務省統計局統計調査部国勢統計課, 2020〕

町丁・字等別集計は、地域の現状を知るために貴重な情報であるが、実はこれによると玉城町では小学校区にわけることができない。字としてはある地域に入っても、小学校区では異なる、という地域があるためである。そこで、本年は住民基本台帳のデータを元に実際の小学校区における人口の集計を試みた。なお住民基本台帳は行政区（自治会）別に集計されている。

推計などに関する計算方法は昨年と同じであり、〔半澤, 武者, 近藤, 濱田, 2016〕を参考にコーホート変化率法を用い、住民基本台帳より 2000 年、2005 年、2010 年、2015 年の国勢調査と同じ 10 月の行政区別・男女年齢別人口調べのデータを用いてい

玉城町は三重県の中ほどに位置する人口約 1 万 5 千人の町であり、昭和の合併で 1 町（田丸町）3 村（東外城田村、下外城田村、有田村）が合併して現在の姿となっている。その 1 町 3 村はそのまま小学校区として現存してお

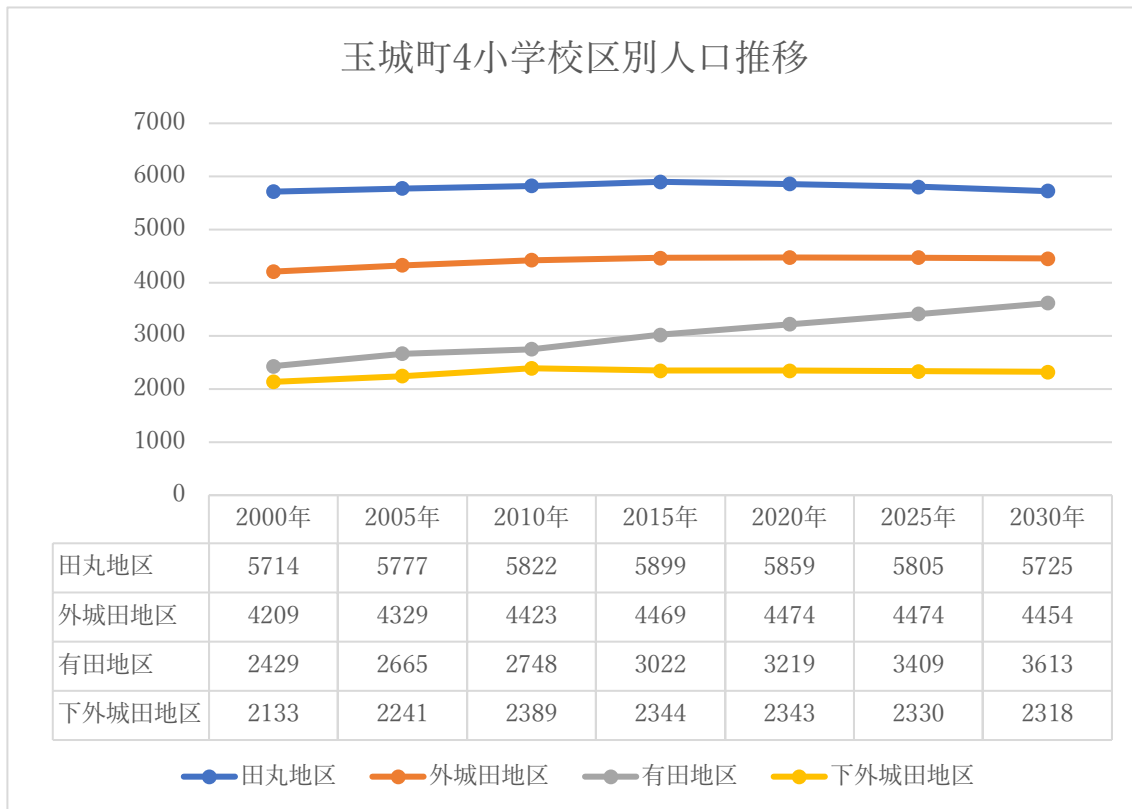


図 2 4 小学校区人口推移（住民基本台帳）

る。各コーホートの変化率の算定には4データの平均値を使いなるべく平均化を試みている。出生数については、地域の若年女性（20～39歳）人口と0～4歳の比率を使い、これも4つのデータの平均値を使用している。また、出生男女比については一般的な51：49としており、地域における出生性差は用いていない。結果はグラフのとおりである。昨年の国勢調査ベースでの考察との違いは、下外城田小学校区の人口減少のカーブが若干緩やかになったことに加えて、2020年頃から若干の上昇が外城田地区に推計されていたがそれがなくなったことである。田丸地区および有田地区については、推計結果はほぼ変わらない。これには理由があり、前述の通り町丁別と小学校区別の集計による違いであり、具体的には2000年代に開発のあった大規模宅地をどちらのエリアにカウントするかの違いとなる。前述の通り、玉城町の場合昭和の合併以来小学校区は現存しており、町内における町民の帰属意識の一つとして小学校区があると考えられ、その点においては本年の集計手法のほうが住民の認識としては近いと考えられる。

（2）地域課題の「見える化」の取り組み

①GISソフトの活用

本研究の基本コンセプトとして「地域課題の見える化」があるが、それについて本年度は地域課題の解析にGISソフトを活用した。GISはGeographic Information

System の略であり地理情報を画面表示しそれを統計データなどと紐付けることのできるソフトである。本年は地域課題の見える化のひとつとして、2015年の国勢調査データを元にして字別の高齢化率などをグラフィック化した。図3では赤色が濃いほど高齢化率が高いことを示しており、町のなかの南部に高齢化率の高いエリアがあることがわかる。また、上述の4小学校区別の人口推移の中で有田地区は今後の人口増加が推計されているが、それに関しても同データを使い、年少人口の比率の分布をグラフィック化したところ（図5）、緑の色が濃いのが年少人口が多いエリアであるが、町の北東のエリアに年少人口が多いエリアがあることがわかる。この地区は有田地区であり、住宅開発の影響により「若い」エリアになっていることがわかる。

また高齢化率の年次変化も2000年国勢調査の高齢化率と2015年を比較することにより視覚化することができた。図3と図4の比較による。全体において経年で色が濃くなっており、特に町南部の地域において高齢化率の上昇が顕著であることがわかる。今回の研究においてGISソフトは、地形モデルへのプロジェクションマッピングの際のデータ作成にも活用しており、具体的にはESRIのArcGIS Proを利用している。

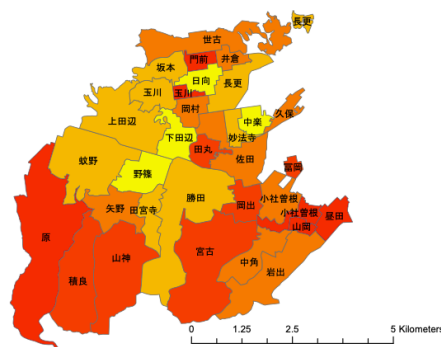


図3 玉城町地区別高齢化率（2015）

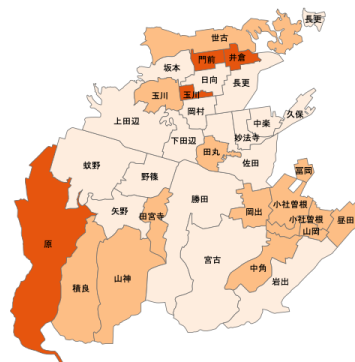


図4 玉城町地区別高齢化率（2000）

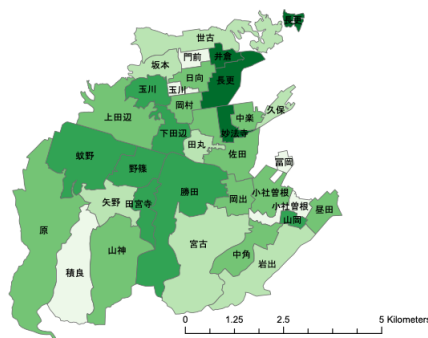


図5 玉城町地区別若年人口比率（2015）

②地形模型へのプロジェクションマッピング

	データ名	提供元
1	基盤地図情報 行政区画の境界線及び代表点	国土地理院
2	基盤地図情報 水涯線基盤地図情報	国土地理院
3	治水地形分類図	国土地理院
4	国土数値情報 浸水想定区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課国土交通省
5	国土数値情報 土砂災害警戒区域	
6	台風21号における町内浸水区域図	玉城町
7	洪水浸水ハザードマップ	玉城町
8	TMKミライデザインマップ（地域の記憶）	オリジナル

図 6 使用したデータ

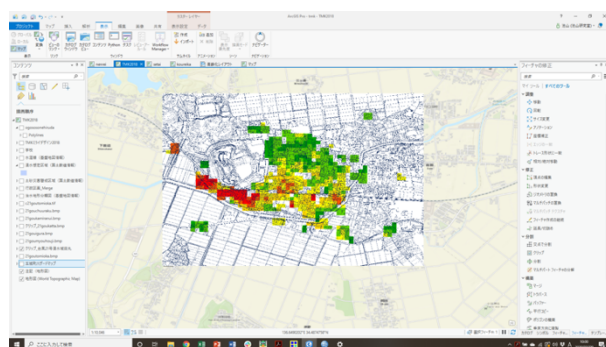


図 7 ジオリファレンス

昨年度からこの地理情報を地形模型に映写することにより、立体視を可能とし地域情報のさらなる「見える化」に取り組んできた。昨年度は超短焦点のプロジェクターを活用し、模型の面から1 m程度の距離から映写を試みた。この場合、映写角により映写画像に歪みが生まれてしまうこと、プロジェクターの照度が低かったことが課題となっていた。今年度は昨年よりも焦点がやや長く、照度の大きいプロジェクターを導入することでその課題の解決を試みた。また、現場において模型へのプロジェクションマッピングを行うためには、焦点距離が伸びたため、昨年度よりもより高い位置にプロジェクターをマウントし、垂直方向に映写する必要があるため、今年度はプロジェクターをマウントするスタンドを開発した。このスタンドは、焦点距離を手元のスライドで自由に変えられるように設計されており、今後のプロジェクトでの活用が期待できる。このスタンドの開発にはエ

本研究では地域住民への地域課題の見える化の提供の一つとして、地形模型へのプロジェクションマッピングを行っている。本年度はそのデータ作成にも前述のGISソフト、ArcGIS Proを活用した。今回使用しているデータセットは表の通りである。8のオリジナルのデータ（今年度、昨年度に模型作成ワークショップにおいて地域住民、児童が書いた付箋紙のデータ）以外はインターネット上からダウンロードできるものばかりである。通常、GISソフトで取り扱えるデータには地球上の座標などの位置情報がセットとなって記録されている。しかし、データリストの6, 7, のデータは玉城町提供のPDFデータであったため、一旦GISソフトに読み込み、「ジオリファレンス」といわれる作業を行うことで、他のデータと位置を一致させた。



図 8 プロジェクタースタンド

ムイーシーテクノ株式会社中谷裕一氏に多大なるご協力をいただいた。ここに深く感謝するものである。

また、本研究においてはつくば市にある地質標本館の視察を行い、地形模型へのプロジェクションマッピングについての多くの知見を得ることができた。地質標本館では日本列島の立体地質図に対して大規模なプロジェクションマッピングを行っている。

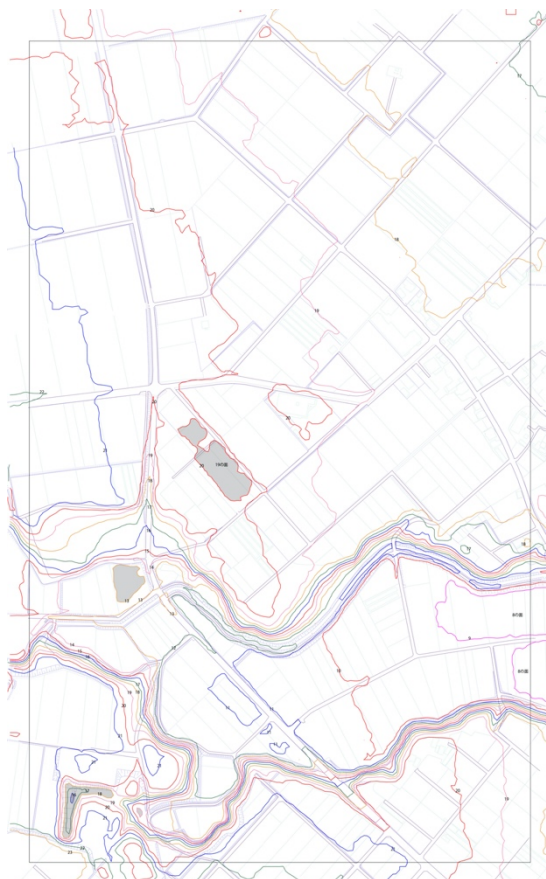


図 9 模型製作用図面

模型については、本年度は玉城町下外城田地区内、小社、曾根、山岡、昼田地区を一括で製作した。縮尺は 1/1000 とし等高線ピッチは 1mとした。昨年は 2mピッチであったので、より詳細な模型となった。製作方法の詳細については、昨年の報告をご参照いただきたい。作製の仕上げには、地域の子どもも関わり、地域の好きな場所などを子どもたちは付箋紙に書き出しそれを模型に貼り付ける。そして、地域住民から地域の歴史などのお話を聞くワークショップを夏休み中の 8 月 22 日に実施した。これには、合同会社人・まち・住まい研究所の代表社員である浅見雅之氏に多大なるご助力をいただいた。ここに感謝するものである。

本研究では、さらに 11 月 30 日に玉城町立つつじヶ丘児童館において、地域住民及び児童によるまちあるきと地域課題に関するワークショップを実施した。本ワークショップでは、後述する地域課題見える化アプリ「マチシルクエスト」の体験に加え、子どもたちは学生のアテンドによるまちあるき、大人たちは地域課題についての話し合いのワークショップを行った。本ワークショップの中で、夏に製作した地形模型に対するプロジェクションマッピングを行い、地域住民への地域課題の見える化を行った。本年度実施の地域は 1 級河川宮川の氾濫平野と段丘面を含んでおり、水害については関心の高い区域



図 10 模型づくりワークショップ



図 11 地域住民との意見交換



図 12 プロジェクションマッピング

であった。そこで、町ハザードマップを始めとする地理情報を地形模型に映写しデモンストレーションを行ったところ、地域住民間で多くの意見交換が行われていた。中でも、伝承や経験則として「どこまで水が来る」といった情報が、等高線 1m ピッチの詳細な模型への地理情報の映写により浮き彫りになったこと。また、既存集落が段丘、岩盤の上に形成されており、そこには水が来ないこと、などを視覚により確認し意見を交わし合っていた。終了後のアンケートの自由記述には「地形のレプリカを見せていただき、水路の配置や土地の高低がよく分かった。」「話すごとに新しい事柄を知ることができる。子供やお母さんが元気なのがよい将来につながる。」「防災的にみて考えるべき点が見つかった」という記述が見られた。

③地域課題見える化アプリ「マチシルクエストⅡ」

(本項のアプリ画面画像は [小山, 中井, 伊藤, 池山, 2020])



図 13 タイトル画面

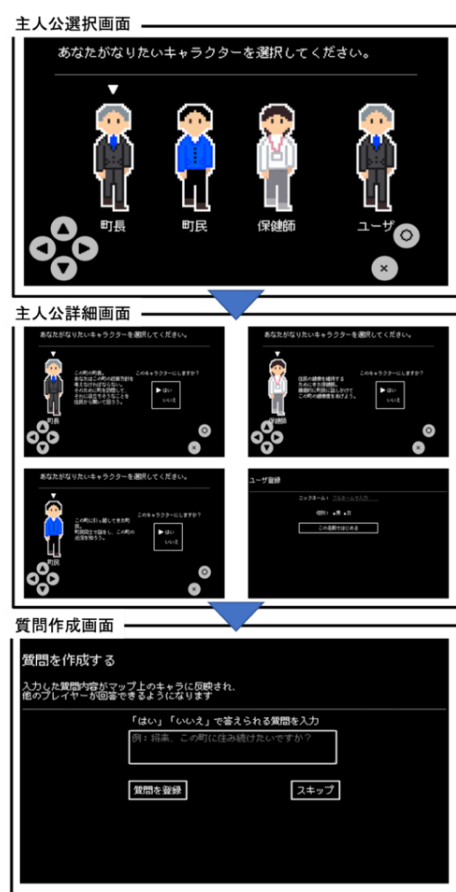


図 14 キャラクター選択等

昨年開発した地域課題の見える化アプリ「マチシルククエスト」をバージョンアップし、「マチシルククエストⅡ」とした。アプリの詳細な説明は昨年度の報告書をご参照いただくとしたい。「『マチシルククエスト』は、ロールプレイングゲーム (RPG) 風の会話を通じてユーザに地域課題を伝えるシステムである。本システムは、三重県度会郡玉城町をモチーフにしたマップ上にランダムに非プレイヤーキャラクター (NPC) を配置する。NPC には、事前に住民から得たアンケート結果から、浮き彫りになった地域課題を織り交ぜた会話を設定する。ユーザは主人公を操作し NPC に話しかけることで、その町の現状をゲーム感覚で知ることができる。また、NPC からの質問に対してユーザが回答する仕組みや、会話にかかった時間などを保存する仕組みによってプレイデータの収集も行うことができる。テレビゲームや携帯ゲーム機の普及により、RPG 風のシステムはワークショップに参加する幅広い年齢層のユーザが利用することに適している。」 [小山, 中井, 伊藤, 池山, 2020]

つまりこのアプリは、おおまかにはロールプレイングゲーム (RPG) の舞台が玉城町、主人公は町長、町民、保健師及び自分自身から選択。主人公は玉城町の中を歩き回り、キャラクターと会話することで、地域の課題について知ることができるというものである。キャラクターが話す地域課題については、

出典のデータを同時に表示することにして、地域住民の地域課題を学ぶための社会教育教材として活用できるものとしている。

今年度の大きなバージョンアップ点としては、①主人公キャラクターの中に「ユーザ」を加え（図 14）、自分のニックネームなどを登録することができるようにした点。②ゲーム開始前に、他のプレイヤーに聞いてみたい質問を登録する事ができ、ゲーム終了後他のプレイヤーたちがどう答えたかを知ることができる機能を搭載した点、この2点である。

本研究ではこのアプリを11月30日に実施したワークショップにて地域住民の皆さんと児童に体験してもらった。終了後のアンケートには、自由記載でアプリについて「新しいやり方の話題提供で、短時間に処理ができる。」「良い所や悪い所など、身近な地区をよく知れて良かった。」「実際の地図と重なっていて面白かった。」などの意見が寄せられた。



図 16 聖隷クリストファー大学でのデモ

の意見が寄せられた。なお、本アプリは今後プレイヤーのログを解析することで、参加者にとって興味関心のある地域課題を特定し、さらに住民参加型ワークショップのブラッシュアップを行うこととしており、データ収集及び分析について、「まちづくりワークショップにおける地域課題共有システムの構築とユーザー行動の分析」として皇学館大学研究倫理審査委員会の承認を得ている。本アプリの制作は鳥羽商船高等専門学校 中井一文准教授の指導のもと、小山航輝氏が行っている。深く感謝するものである。

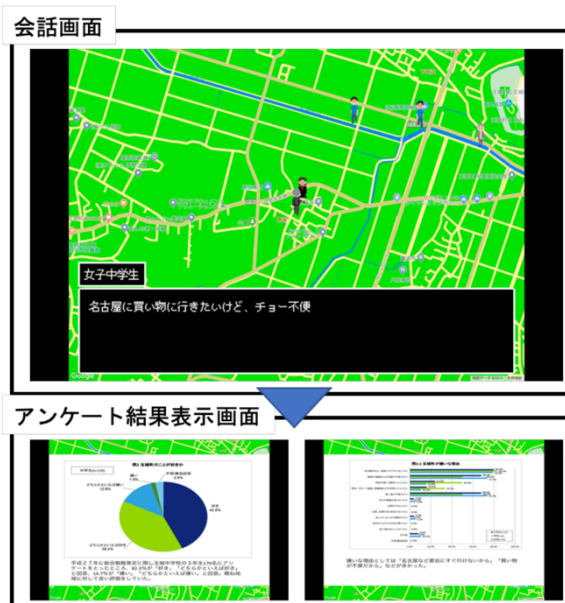


図 15 アンケートの結果表示

また本アプリは、令和1年11月21日に浜松市にある聖隷クリストファー大学において、講義「公衆衛生看護活動展開論」の中でデモンストレーションを行い、約150名の学生に体験していただいた。その中では「いろんな人と話せて、その街の現実とかを知ることができた。」「地域のことを知りながら歩いている（ママ）人と話すことができ楽しかった。問題についても知ることが多く勉強になった。」「短時間でその街の現状を知ることができてよかった。」など



下外城田地区まちづくりアンケート概要

配布日	令和元年8月2日～3日
回収日	令和元年8月9日～10日
対象地区	岩出地区・宮古地区
配布方法	留置法
配布数	526通（岩出217・宮古309）
有効回収数	312通（岩出144・宮古168）
有効回収率	59.3%（参考 H27 総合計画調査の際の回収率39.3%）

（3）まちづくりアンケート

本研究では昨年度に上記のような支援を行った2地域、玉城町下外城田地区内、岩出地区、宮古地区において中学生以上の住民全員を対象とする「まちづくりアンケート」調査を実施した。質問紙の内容は巻末をご参照いただきたい。

図 17 まちづくりアンケート概要

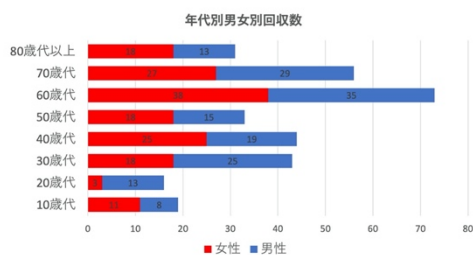


図 18 男女別回収数

以上の全員」と設定し実施している。概要は図 17 のとおりであり、各世代に比較的広く回収することができた。今回は郵送による配布回収ではなく、留置法により行った。研究補助アルバイト学生の献身的努力により夏の暑いさなかの配布回収であったが、事故なく終わることができた。ここに参加学生に深く感謝するものである。以下に集計結果についていくつかの点について概観する。単純集計は巻末に示す。

① 農業者の高齢化とそれに伴う農地山林の管理の困難さ

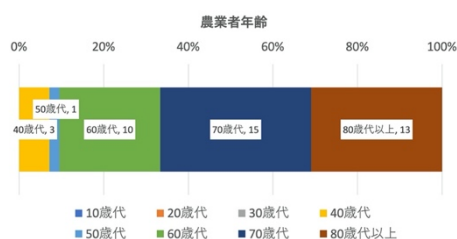


図 19 農業従事者年齢

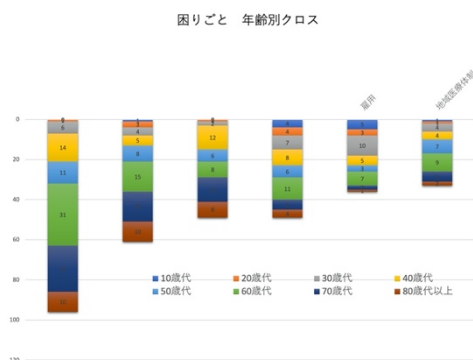


図 20 困りごとと年齢別クロス

今回のアンケートの特徴は、「世帯」を対象とするのではなく「個人」を対象としていることにある。住民対象アンケートでは世帯を対象としたものが多く、その場合そこにあられた結果は必ずしも世帯の総意ではなく、記入者の意見であることが多いと考えられる。また、そのアンケートの記入は誰が行っているか、と考えてみるとどうしても男性で一定以上の年齢の方でありがちである。そこで、本アンケートでは、対象を該当エリアにお住まいの「中学生

アンケートでは職業を聞いているが、岩出地区、宮古地区を合わせて農業と回答しているのが 42 名。その構成を見てみると、実にそのうちの 90.4% が 60 歳以上という結果であった。上記の通り、性別、年代ともに比較的バランス良く回収できていることから考えても、やはり農業者の高齢化は下外城田地区においてもかなり進んでいると考えられる。後述する通り、アンケート結果については 2 地区でそれぞれ報告会を実施してそこで意見交換を行っているが、そこでの聞き取りにおいても農業者が耕作を比較的大規模に耕作している農家（いわゆる担い手）に委託するという動きが玉城町でも進んでいる。当面の耕作だけを考えれば、委託によって農地が荒れることは避けられるものの、耕作に付随する地域環境の美化などのいわゆる「出合い作業」等が滞ることによって、農村の環境が悪化しているとの声も聞く。このことにつ

いて、生源寺は日本の土地利用型農業を 2 階建て構造であるとしたうえで「上層が市場経済に組み込まれた層であるとする、基層は農村のコミュニティに埋め込まれた層であり、コミュニティの共同行動として機能する層である」と指摘し、その部分の機能の弱体化を指摘している [生源寺, 2011]。

またこれに対応するものとして、普段の生活における困りごとを訪ねた設問では、一番多かったのが「農地山林の維持管理について」であり、96 名の回答者のうち 66.7% が 60 歳以上であった。やはり、耕作、維持することの肉体的困難と世代交代を見据え管理に不安を持っている住民が多いと考えられる。上記の生源寺の論考も合わせて考えると、担い手による耕作による「上層」の部分と、それに加えていかに農村のコミュニティを維持するかという生源寺の言う「基層」部分の検討が必要である。

②地域活動への参加、関心

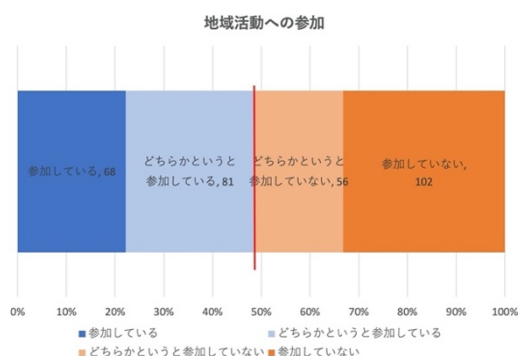


図 21 地域活動への参加

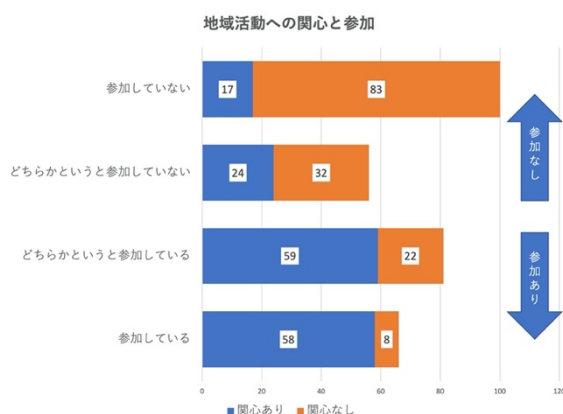


図 22 地域活動への関心と参加

次に、自治会などを含む地域活動への参加についての項目であるが、参加している、どちらかというに参加している、どちらかというに参加していない、参加していない、の 4 段階で尋ねたところ、「どちらかという」とを含めて参加層と不参加層はほぼ同数の結果となった。

さらに調査では、地域活動への興味・関心についても尋ねており、参加・不参加とのクロス集計を行った。結果は図のとおりである。今回判明したことは、地域活動について「参加していない」と答えたうちの 17.0%、「どちらかという」と参加していない」と答えたうちの 42.9% が地域活動について関心があることがわかった。

調査では、地域活動に参加しない理由を聞いており、それによると最も多いのが「仕事学業などで時間的に余裕がない」が26%である。(図23)

現在自治会を含む地域活動の主な担い手が60～70代の方であることを鑑みても、現在忙

しくて参加できない、しかし地域活動に関心がないわけではない世代にいかにか地域に振り向いてもらい、関心を持ち続けてもらう工夫や努力が、地域を担う人材の世代交代のためにも必要である。

それでは、世代、性別ごとに見ていくとどんな世代が地域活動に関心を持ち、そしてどんな世代が関心を持ち得ていないのだろうか。年齢性別の地域活動への関心と参加をクロス集計したものが次の図である。全体としての「参加層」「不参加層」のボーダーラインを赤い直線で示している。赤い線よりもブルー系の色が左に入っている年齢層、性別は全体平均よりもより参加がないといえる。

図によると若年層に参加が低い傾向が見えるとともに、中間年齢層50歳代についても参加が少ないことがうかがえる。今回の調査のいくつかの項目において「50歳代の地域離れ」とも言うべきものが見られた。(居住意思や地域への愛着について、図25、26)

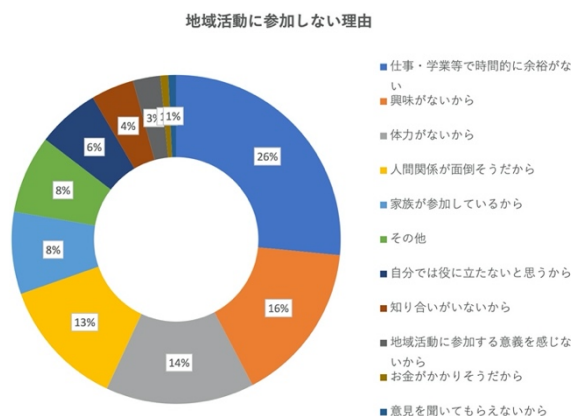


図23 参加しない理由

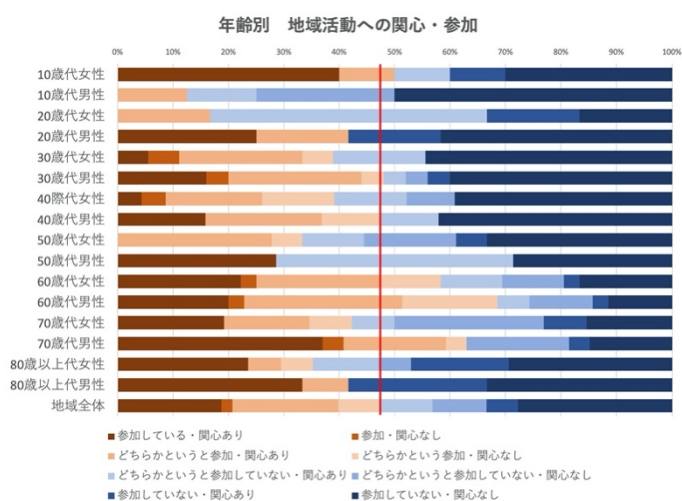


図24 地域活動への関心・参加

これについては、現在のところ原因は不明であるが今後注目して調査・研究を行っていきたいと考えている。

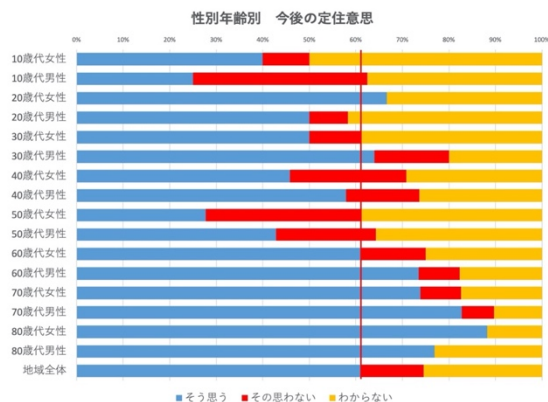


図25 今後の定住意思

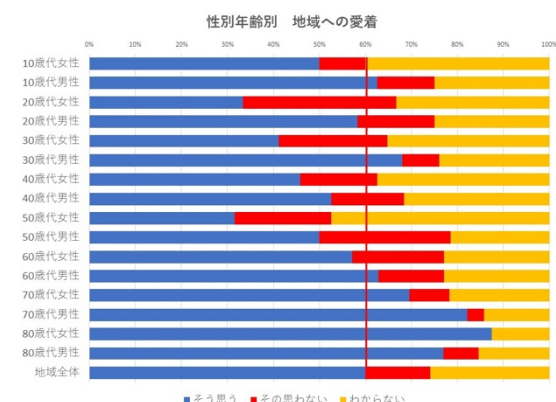


図26 地域への愛着

③まちづくりにおける「大切さ」と「満足度」

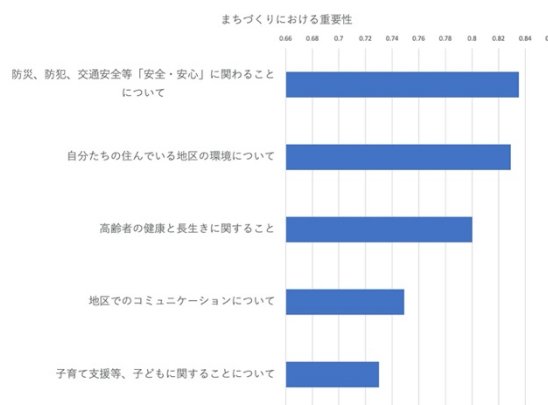


図27 まちづくりにおける大切さ

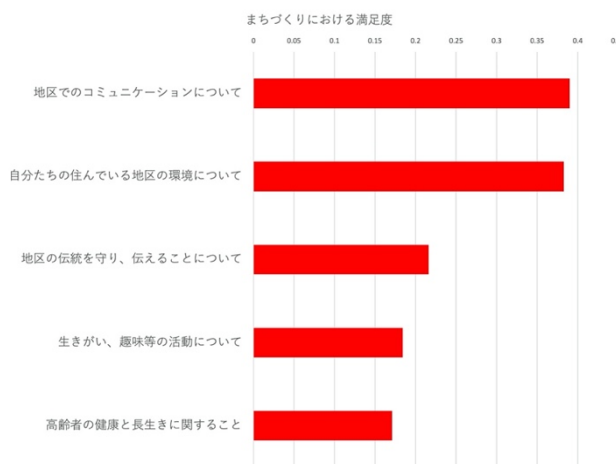


図28 まちづくりにおける満足度

本調査では、まちづくりの取り組みを9つの項目に分け、それについて「大切だと思うか」および「現状に満足しているか」と聞いている。まず重要性についてであるが、上位5項目は図27のようになっている。「防災、防犯、交通安全など『安全・安心』に関わることに」についてが最も多く、約83%の住民が重要であると答えている。ついで「自分たちの住んでいる地区の環境について」「高齢者の健康と長生きに関すること」と続いている。いずれの項目についても納得のゆくまちづくりにおける重要項目であることがわかる。

続いて全く同じ項目について「現状に満足しているか」と尋ねたものが図28である。最も満足度の高かったのは、地区でのコミュニケーションについて」ついで「自分たちの住んでいる地区の環境について」この2つの項目は特に満足度が高く、といっても大切さとは異なり4割弱の住民が満足している結果であった。そこからはほぼ半減で「地区の伝統を守り、伝えること

について」「生きがい、趣味などの活動について」と続いている。

この「大切さ」「満足度」の2つの項目を2軸として散布図を描いたものが次のグラフとなる。縦軸に満足度、横軸に大切さを取り、赤い線が平均値である。この2軸により4つの象限に分かれることになる。まず右上の第1象限についてであるが、この象限は「高満足度・高重要性」の項目である。続いて左上の第2象限は「高満足度・低重要性」、左下第3象限「低満足度・低重要性」、最後に右下の第4象限が「低満足度・高重要性」となる。施策立案に付き注目すべきなのはやはり、右下の「低満足度・高重要性」の第4象限である。この部分にある項目は、「高齢者の健康と長生きに関すること」「防災、防犯、交通安全など『安全・安心』に関わることについて」「子育て支援等、子どもに関することについて」となっている。どれも、地域の持続可能性を考える上で大切なテーマであることがわかる。

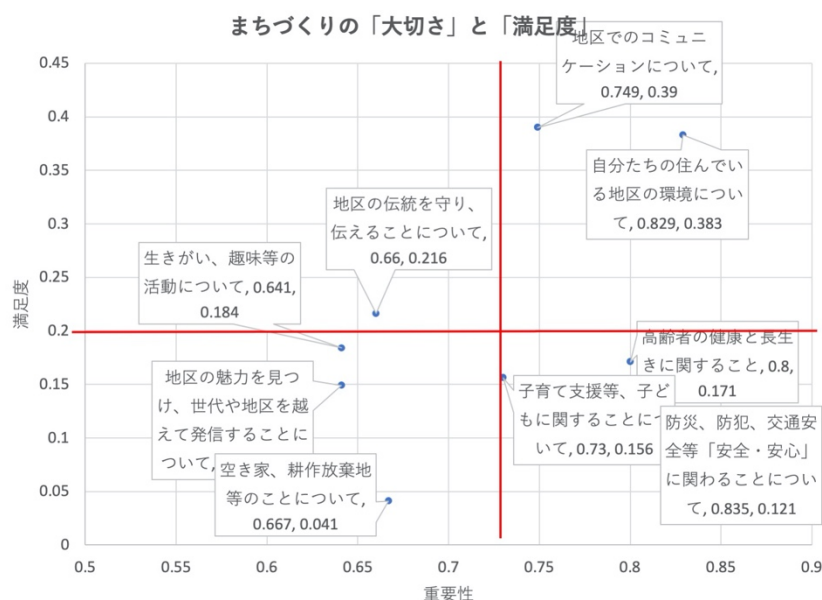


図 29 大切さと満足度

右上第1象限は「高満足度・高重要性」のフィールドであり、この項目は「地区でのコミュニケーションについて」「自分たちの住んでいる地区の環境について」の2項目である。満足度も高く、重要性も高いので現状維持で取り組んでいくべき項目と考えることができる。ここで第4象

限の項目との比較を試みる。第4象限の項目は、高齢・児童福祉、治安維持、防災などの項目であり、ある意味地方「政府」が取り組むべき課題であることがわかる。つまり住民にとっては要望することで実現に近づけていく（と考えられている、あるいは、いた）べき項目と捉えることができる。反対に第1象限の項目については「コミュニケーション」「環境美化」であり、これはもっぱら住民相互の自助努力により実現されてきた項目といえる。こう考えるときあくまでも仮説であるが、昨今謳われる「協働のまちづくり」という観点により、住民の参加により具現化している項目について満足度が高い、とするならばこういった項目についても住民の参画を増やしていくことによって満足度を向上できるのではないだろうか。

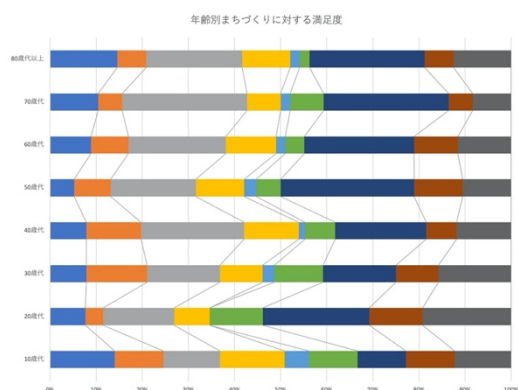


図 30 満足度年齢別

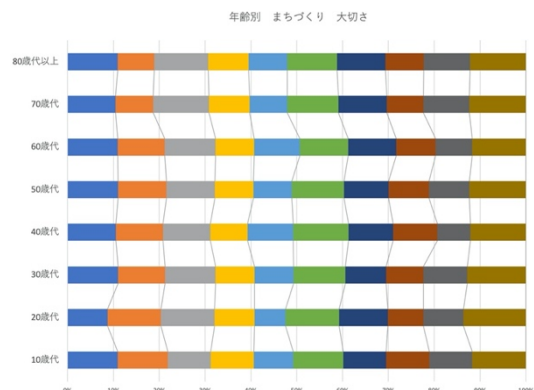


図 31 大切さ年齢別

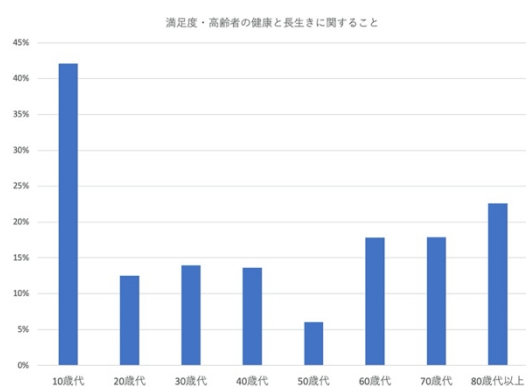


図 32 満足度 高齢者 年齢別

代は回答があった年代の中で「高齢者の健康と長生きに関すること」に関して「満足」と回答した比率が低い事がわかる。推測になるが、50 歳代は自身の老後について考えることになる年代でもあるとともに、自身の親世代の介護などの不安や実際の苦労も大きくなる世代であり、このあたりにも地域から心が離れるなにかの要因があるのかもしれない。

最後になるが、2 年を終える本研究事業についての認知度を尋ねたところ、有効回答 315 のうち、117 名 37.1%の方が「知っている」と答えた。今後もこの数字が高まるように継続して支援をしていければと考えている。

この満足度、重要度についての項目についてであるが、年代別にクロス集計をしてみると上で疑問となったことへの一つの仮説が見えてくる。(図 30、31)

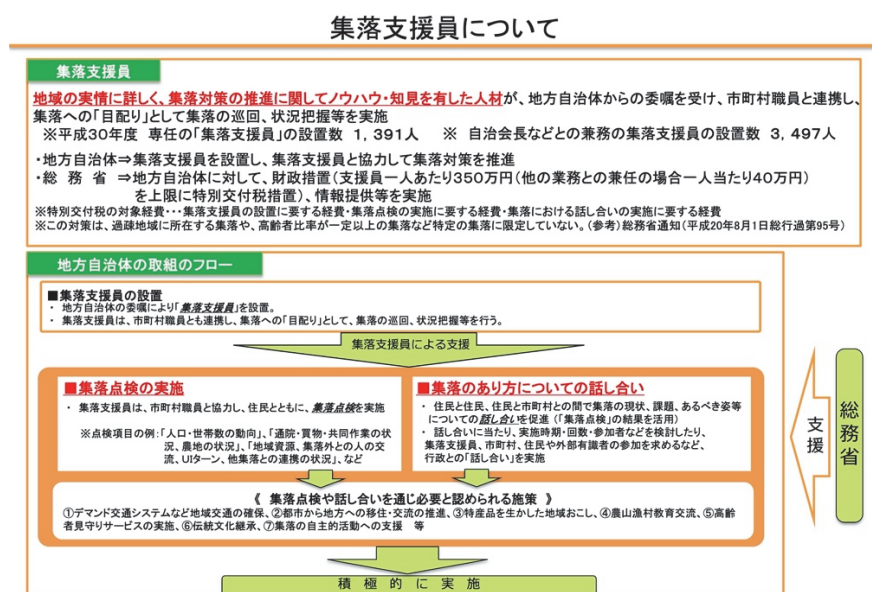
大切さに関する回答については、年代によってさほどばらつきがないことがグラフから見て取れるが、一方満足度については年代によってかなりばらつきがある。その中でも「高齢者の健康と長生きに関すること」のみを取り出したグラフを示す。50 歳

(4) 継続的な支援

本年度私達が取り組んできたことを報告させていただいているが、やはり我々はエトランゼ（異邦人）として玉城町での支援を行っていることは否めない。年度の受託研究としての取り組みは永続的なものにはなりえないという宿命がある。その場合、だれが玉城町の未来づくりをこの先長いスパンで支援していくのか。

総務省の制度として「集落支援員制度」がある。集落支援員は「地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施」する制度であり、地方自治体は集落支援員を設置、集落支援員と協力して集落対策を推進する。そこに総務省は、財政措置（支援員一人あたり350万円（他の業務との兼任の場合一人当たり40万円）を上限に特別交付税措置）、情報提供等を行う制度で、平成30年現在で全国331の自治体で導入されている〔総務省、2020〕。そして、同ウェブサイトによると9割を超える集落支援員がそれまで暮らしていた自治体で採用されている。業務内容は大きく「集落点検の実施」と「集落のあり方についての話し合い」とされており、まさに私達が考え支援してきた内容と重なる部分が大きい。そこで、今後の継続的な支援として、集落支援員の導入を行い、支援員と我々外部専門家との連携により、今後も継続的な支援が行なう、ということを提案したい。

多くの場合地域の支援は最終的に支援者が手を離し「自走」を求めることが多いが、いきなりの自走ではなく、外部専門家の支援のあと、集落支援員などのより身近な支援者との二人三脚の期間を経た上での自走に至らしめることが、より「ていねいな」地域支援といえると考えている。



集落対策の概要について（総務省、https://www.soumu.go.jp/main_content/000618040.pdf）

終わりに

「はじめに」を書いてから数日の間に、社会情勢は大きく進み「非常事態宣言」についての法案が可決されようとしている。コロナウイルスは猛威をふるい、感染者を数える数字が日増しに大きくなっていく。小売店からはマスク、紙製品が品不足のためにすでに消えている。見通しのきかない日々が続く、本学でも卒業式が中止となった。昨年はこの項に年度末に実施した報告会の内容を記したのだが、それも今般の事情により中止せざるを得なくなった。年度内に行政チャンネルの番組として放映すべく、町担当職員と鋭意取り組んでいるところであるが、いかんせん見通せない日々が続いている。

不確実性の時代、といって良いと思う。嵐の海に行く私達にとっての羅針盤とは何であろうか。波がうねり、風が吹き荒れても常に北を指すその針とはこの時代の我々にとっては何なのであろうか。それは、やはり一人ひとりが幸せを願い、日々の暮らしを営む心持ち、ではないだろうか。そのことには、古今東西を問わず変わらないのではないか。そしてそのための場所としての「地域」もやはり欠かすことはできない。そのことを見失ってはいけないと思う。

「明日世界が滅びるとしても、今日私はりんごの木を植える」というのはマルティン・ルター言葉だそうだが、複雑かつ見通せない時代だからこそ、行すべきことを粛々と行っていきたくて願う。数字ですぐに結果の出ない本研究・実践であるからこそ、与えられた機会をしっかりと受けとめ、今後も粛々と為すべきことを為していきたいと切に願う。

最後に、本研究事業にご助力いただいた地域の皆さん、協力機関の皆さん、本学の学生諸君、そして玉城町役場職員みなさんに熱く御礼を申し上げる。

令和2年3月

皇學館大学教育開発センター准教授

池山敦

引用文献

- 玉城町. (2019 年 03 月 06 日). 玉城町の姿. 参照先: 玉城町公式:
<https://kizuna.town.tamaki.mie.jp/chosei/shokai/sugata.html>
- 小山航輝, 中井一文, 伊藤純子, 池山敦. (2020). 地域課題の現状を可視化するシステムの構築. 情報処理学会研究報告.
- 生源寺眞一. (2011). 日本農業の真実. 筑摩書房.
- 総務省. (2020 年 3 月 13 日). https://www.soumu.go.jp/main_content/000539834.pdf. 参照先: 地域力の創造・地方の再生:
[https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-
gyousei/bunken_kaikaku/02gyosei08_03000070.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/bunken_kaikaku/02gyosei08_03000070.html)
- 総務省. (2020 年 3 月 13 日). 地域力の創造・地方の再生. 参照先: 総務省公式:
https://www.soumu.go.jp/main_content/000539834.pdf
- 総務省統計局統計調査部国勢統計課. (2020 年 03 月 09 日). 小地域集計 統計表のみかた.
参照先: e-Stat 政府統計の総合窓口:
<file:///Users/ikeyamaatsushi/Downloads/mikata.pdf>
- 半澤誠司, 武者忠彦, 近藤章夫, 濱田博之. (2016). 地域分析ハンドブック Excel による図表づくりの工具箱. 京都市: ナカニシヤ出版.

平成 31 年度下外城田明るい未来づくりに関する調査研究業務 ワークショップ実施概要

総開催回数	4 回
延参加人数	9 6 名

No.	タイトル	実施場所	実施年月日	備考
1	夏休み立体地図作り ワークショップ	下外城田小学校 体育館	令和元年 8 月 22 日	3 5 名参加
2	岩出地区 まちづくりアンケート報告会	岩出農業研修 センター	令和元年 10 月 31 日	1 9 名参加
3	宮古地区 まちづくりアンケート報告会	宮古区集会所	令和元年 11 月 1 日	2 1 名参加
4	下外城田地区ゲーム体験会 &子どもまちあるき	つつじヶ丘児童 館、その周辺	令和元年 11 月 30 日	2 1 名参加

※3 月 7 日(土)に予定していた T M K ミライデザイン P J 報告会は、
新型コロナウイルス感染拡大のため行政チャンネルでの放映に代替しました。

TMKミライデザインプロジェクト2019 実施報告書 vol.1

タイトル	下外城田地区 夏休み立体地図作りワークショップ ※新規地区（1年目）
開催日時	令和元年8月22日（木） 8：30～11：30
開催場所	下外城田小学校体育館
参加者	住民35名
ファシリテーター	合同会社 人・まち・住まい研究所 浅見雅之氏 皇學館大学 池山敦准教授
スタッフ	皇學館大学2名、Mブリッジ2名、他2名

当日の進行

08：30 事業説明／作業の説明など
 09：00 作業1「まちをつくろう！」…スチレンペーパーを貼り合わせて地域を作る
 10：00 休憩（かき氷、お菓子、お茶等のふるまい）
 10：30 作業2「おうちを探そう！」…出来上がった立体地図を見ながら対話する
 11：30 終了

概要

地域の現状を地域住民に「見える化」することで、地域課題を自分ごととし、住民の自己決定を支援する「TMK ミライデザインプロジェクト」。新規地区への支援として、下外城田小学校体育館で、地形模型制作ワークショップを実施した。このワークショップは“地域の思い出は、多くが場所と結びついていること”に着目し、地形模型をつくって、様々な世代の住民の思い出を付箋などで貼り付けて見える化し、地域への思いを伝え合うことで郷土愛の醸成につなげることを目的としている。

当日は、つつじヶ丘児童クラブの児童や地元住民らが参加。冒頭にファシリテーターを務める皇學館大学・池山敦助教、合同会社人・まち・住まい研究所の浅見雅之氏から事業の概要と作業の流れを説明した。前半は、小古曽・曾根・山岡・昼田地区の模型の制作を行った。皇学館大学の学生らが事前に制作した土台に、児童らが仕上げ作業として丘や高台部分などのパーツを楽しそうに組み立て、同地区の千分の一模型を完成させた。休憩では、皇學館大学生らが中心となり、かき氷やお茶・お菓子をふるまった。

後半は、完成した模型を眺めながら、自宅の場所に付箋を貼り、模型上の各場所にまつわる思い出や知っていることを出し合った。児童らは「魚がいる」「自転車でこけた場所」「きれいな川がある」などの何気ない思い出を付箋に書いてそれぞれの場所に貼り付けた。その後、地域住民から「山岡には昔お城があった」「昔宮川で魚をとって遊んだ」「水害に弱い地域で、伊勢湾台風で氾濫して大変だった」「イチゴが特産」などの地域の歴史や昔の遊び、地域の特徴を紹介し、一緒に地域の課題や魅力を探り合った。児童らは、初めて知る話もあり、質問しながら熱心に聞き入っていた。各世代が地域の姿を見つめ直す良い機会となっていた。

実施風景



模型を完成させる



かき氷とお茶菓子で休憩



地域の人から話を聴く

報告書作成：Mブリッジ

TMKミライデザインプロジェクト2019 実施報告書 vol.2

タイトル	まちづくりアンケート報告会 ※既存地区（2年目）
開催日時	令和元年10月31日（木）19:00～20:30
開催場所	岩出農業研修センター（三尊寺）
参加者	住民19名（大人13名、子ども6名）
ファシリテーター	皇學館大学 教育開発センター 池山敦准教授 NPO法人Mブリッジ 地域支援アドバイザー石丸隆彦
スタッフ	皇學館大学3名、Mブリッジ1名、他1名

当日の進行

19:00 事業説明／ファシリテーター紹介
 19:05 アンケート報告 ※子ども向けの工作プログラムを同時進行
 19:45 意見交換
 20:30 終了

概要

岩出地区は昨年度からの継続的な支援地区である。今年度は、地域の自走につなげるための段階を踏んだ支援として、まず住民の地域への想いや意見や調査し、持続可能な地域づくりのヒントを得ようと「全住民アンケート」を実施した（期間：8/2～8/10、対象：岩出地区の中学生以上の全員）。「まちづくりアンケート報告会」は、その結果を住民に伝えることで、今後の岩出地区のあり方を住民自らが考えてもらうきっかけづくりを目的に実施した。

前半は、皇學館大学の池山敦准教授がアンケート結果の報告を行った。「地域の困りごと」や「地域活動への関心度」などのリアルな数字に住民らは興味深く聞き入っていた。後半は、NPO法人Mブリッジ所属地域支援アドバイザーの石丸隆彦が進行を担当し、アンケート結果から感じたことなどを住民同士で意見交換した。住民らは3つのグループに分かれ、『アンケート報告を聞いて、気になったこと』についてグループ内で感想を伝えあった。「50代女性の郷土愛が低いことに驚いた」「農地の将来への不安は、切実な課題だと再認識した」などたくさんの意見が出ていた。感想を共有した後は『岩出地区でどんなことができるといいか』について話し合った。「地域の中で人が気軽に集まれる仕組みが必要。防災などの関心の高いテーマで集まってはどうか」「昔のカラオケ大会を復活させたい」などさまざまな意見があがり、地域で幸せに暮らし続けていくために何が必要かを見つめ直す機会となっていた。

またアンケート報告・意見交換と並行して、同じ会場内で皇學館大学生が考えた子ども向けのプログラムも実施した。学生が教えながら、子ども達が玉城町の「元気バス」を空き箱や折り紙で工作し、子ども達も楽しみながら地域活動に参加する機会となっていた。

実施風景



アンケート報告



意見交換のようす



「元気バス」づくり

報告書作成：Mブリッジ

TMKミライデザインプロジェクト2019 実施報告書 vol.3

タイトル	まちづくりアンケート報告会 ※既存地区（2年目）
開催日時	令和元年11月1日（金） 19：00～20：30
開催場所	宮古区集会所
参加者	住民21名（大人16名、子ども5名）
ファシリテーター	皇學館大学 教育開発センター 池山敦准教授 NPO法人Mブリッジ地域支援アドバイザー 石丸隆彦
スタッフ	皇學館大学1名、Mブリッジ1名

当日の進行

19：00 事業説明／ファシリテーター紹介
 19：05 アンケート報告 ※子ども向けの工作プログラムを同時進行
 19：45 意見交換
 20：30 終了

概要

宮古地区は昨年度からの継続的な支援地区である。今年度は、地域の自走につなげるための段階を踏んだ支援として、まず住民の地域への想いや意見や調査し、持続可能な地域づくりのヒントを得ようと「全住民アンケート」を実施した（期間：8/2～8/10、対象：宮古地区の中学生以上の全員）。「まちづくりアンケート報告会」は、その結果を住民に伝えることで、今後の宮古地区のあり方を住民自らが考えてもらうきっかけづくりを目的に実施した。

前半は、皇學館大学の池山敦准教授がアンケート結果報告を行った。「地域の困りごと」の順位や、地域活動に参加している人の割合などの結果を住民らは熱心に聞き入っていた。後半は、NPO法人Mブリッジの地域支援アドバイザー石丸隆彦が進行を担当し、アンケート結果から感じたことなどを住民同士で意見交換した。住民らは3つのグループに分かれ、『アンケート報告を聞いて、気になったこと』についてグループ内で感想を伝えあった。「地域活動に参加する人よりしていない人の方が多いことに驚いた」などの意見が出ていた。感想を共有した後は『宮古地区でどんなことができるといいか』について話し合った。「地区内に“抜け道”があり交通量が多く、安全対策が必要」「防災への取り組みは、住民同士だけでなく地区内の企業や学校とも情報を共有して連携するべきではないか」などの意見があがり、地域で幸せに暮らし続けていくために、何をすべきかを振り返る機会となっていた。

またアンケート報告・意見交換と並行して、同じ会場内で皇學館大学生が考えた子ども向けのプログラムも実施した。学生が教えながら、子ども達が玉城町の「元気バス」を空き箱や折り紙で工作し、子ども達も楽しみながら地域活動に参加する機会となった。

実施風景



アンケート報告



意見交換のようす



「元気バス」づくり

報告書作成：Mブリッジ

TMKミライデザインプロジェクト2019 実施報告書 vol.4

タイトル	下外城田地区 ゲーム体験会&子供まちあるき ※新規地区（1年目）
開催日時	令和元年11月30日（土）9：00～12：00
開催場所	つつじが丘児童クラブ
参加者	住民21名（大人9名、子ども12名）
ファシリテーター	皇學館大学 教育開発センター 池山敦准教授
スタッフ	皇學館大学1名、鳥羽商船高等専門学校中井一文准教授・学生4名、Mブリッジ2名、他1名
当日の進行	
09：00 事業説明	
09：05 鳥羽商船学生作成のWEBアプリ「マチシルクエスト～下外城田の伝説」体験会	
09：45 <以下同時進行>	
・まちあるき（子供向け） ・地域の未来を考えるワークショップ（大人向け）	
11：30 ふり回り	
12：00 終了	
概要	
下外城田地区は、町内の4小学校区の中で最も人口減少・少子化が進んでいる。今回のワークショップは、新規地区（小社・曾根・山岡・昼田）への支援として、地域の現状を見える化することで、住民が地域を見直し、地域課題を「自分ごと」に捉えるきっかけづくりを目的に実施した。 冒頭は、ファシリテーターの皇學館大学・池山敦准教授が事業の説明を行った。その後、鳥羽商船の学生らがWEBアプリ「マチシルクエスト～下外城田の伝説」（鳥羽商船中井研究室が開発）を紹介し、体験会を実施した。参加者は2～3人に1人ずつタブレット端末を持ち、ゲームを通じて楽しみながら地域の課題や将来像に触れていた。 その後、子供達は外に出て「まちあるき」、大人は会場に残り「地域の未来を考えるワークショップ」を行い、2つのワークショップを同時進行で実施した。 〈まちあるき〉 8月の立体地図作りで参加者に書いていただいたポイントを、子供達が学生と一緒に実際に歩くことで、地域の魅力を見直すきっかけづくりを目的に実施した。外城田神社、宝泉寺、小社神社などをめぐり、途中の水源地（湧き水）では地区の人のお話を聞いた。またまちあるき中は子供達にカメラを渡し、子供の視点から見た「地区のいいところ」を撮影してもらった。児童クラブに戻ってからは、学生が手づくりの紙芝居で小社神社の歴史を伝えた。地域の歴史を楽しく学び、愛着を深めてもらおうと、学生が企画したもので、子供達は一生懸命に聞き入っていた。またまちあるきの後にぜんざいを振る舞うなどして、今回の企画が子供達の良い思い出となるような工夫を行った。 〈地域の未来を考えるワークショップ〉 まずはWEBアプリを体験し、気になったテーマについて話し合いを行った。まずは参加者がアプリを体験して「気になった話題」と「その理由」について意見を出し合った。参加者からは「高齢化が進み、子供がいなくなることが心配」「近所の人とコミュニケーションが取りにくくなってきた」などの意見が出ていた。 後半は、8月のワークショップで制作した立体地図（地域模型）に地区の防災情報をプロジェクターで投影し、地域の地理的な特徴、災害時の危険個所などを立体的にわかりやす	

く説明した。ゲームや立体地図等で地域の現状を示したうえで、話し合いをすることで「地域の現状を理解し、地域の将来を自分たちで決めていく」ための第一歩とした。

〈ふりかえり〉

最後には、大人と子供の全員が集まり、ふり返しを行った。子供達が見つけた「地区のいいところ」の写真などを見ながら、地域の現状、未来について見直す良い機会となっていた。

実施風景

〈WEB アプリ体験〉



アプリの説明



アプリの体験



アプリの体験

〈まちあるき〉



まちあるき



地区のいいところを撮影



ぜんざいの振る舞い

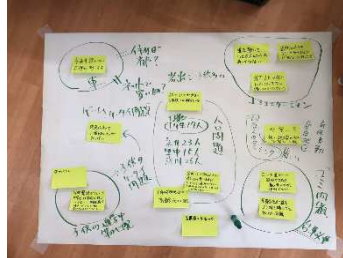
〈地域の未来を考えるワークショップ〉



地域についての話し合い



立体地図を見ながら対話



話し合いの内容

〈ふりかえり〉



大学生による紙芝居



ふり返し



集合写真

報告書作成：Mブリッジ

下外城田地区 まちづくりアンケート

～みなさんの声をお聞かせください～

アンケートの当てはまる項目の数字ひとつに○を付けてお答えください。問は15まであります。
「いくつでも」または「3つまで選んで」という場合には、その問の説明に従ってご回答ください。
ご回答は統計的に処理し、個人を特定することは一切ございません。

(1) あなたについて教えてください

問 01 あなたの性別を教えてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問 02 あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳代 | 8. 80 歳代以上 |

問 03 ご家族について教えてください。ご同居のご家族はあなたを含め何人ですか？

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

問 04 あなたのお住まいはどの地区ですか？

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|----------|---------------|
| 1. 宮古 | 2. 岡出 | 3. 富岡 | 4. 昼田 | 5. 中角 | 6. ファーストタウン中角 |
| 7. 山岡 | 8. 小社 | 9. 曽根 | 10. 岩出 | 11. 公園通り | 12. その他 |

問 05 あなたのお仕事はどれですか？当てはまるものをいくつでもお答えください。

- | | | | | |
|-------------|--------------|-------------------|--------|--------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 漁業 | 4. 自営業 | 5. 会社員 |
| 6. 公務員・団体職員 | 7. パート・アルバイト | 8. 専業主婦（主夫） | | |
| 9. 中学生 | 10. 高校生・高専生 | 11. 大学生・短大生・専門学校生 | | |
| 12. 無職 | 13. その他（ | ） | | |

問 06 日常生活について不安に感じていること、困っていることはありますか？当てはまるものいくつかでもお答えください。

1. 食事作り、洗濯、ゴミ出し等の日常生活のこと
2. 庭作業（草取り）、電球の交換等の軽作業のこと
3. 農地、山林の維持管理に関すること
4. 日常的な相談をする相手がいないこと
5. 看病や世話をしてくれる人がいないこと
6. 健康面への不安があること
7. 緊急時の相談先になってくれる人がいないこと
8. 災害への備えや避難に関すること
9. 自家用車の運転に不安があること
10. 買い物・通院等の移動手段（交通手段）のこと
11. 生活道路等の環境整備に関すること
12. 食品・生活用品の買い物に関すること
13. 身近に預貯金を引き出せる金融機関がないこと
14. 福祉サービス（デイサービス・介護施設）等に関すること
15. 病院までの距離等、地区の医療体制に関すること
16. 子育て環境に関すること
17. 仲間と気軽に集まる場所がないこと
18. 学校が遠く、通学が不便であること
19. 小学校が少人数であり、学習面での競争が少ないこと
20. 進学に関すること
21. 結婚に関すること
22. 仕事、雇用、就職に関すること
23. その他（ ）



問 07 日常の主な交通手段を教えてください。

- | | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|--------|
| 1. 自動車 | 2. バイク・原付 | 3. 路線バス | 4. タクシー | 5. 自転車 |
| 6. 徒歩 | 7. 元気バス | 8. その他（ | ） | |

(2) 地域活動について教えてください。

※地域活動とは、地区の活動や共同作業、まちづくり活動や NPO、ボランティア等の活動、まつり、行事、イベント等全般を指します。

問 08 あなたは地域活動に関心がありますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 09 あなたは地域活動に参加していますか？

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 参加している | 2. どちらかというに参加している |
| 3. どちらかというに参加していない | 4. 参加していない |

問 10 問 08 で答えた理由を3つまで教えてください。

①「参加している」「どちらかというに参加している」とご回答頂いた方

- | |
|------------------------|
| 1. やりがいがあるから楽しいから |
| 2. 誰かの役に立てるから |
| 3. 知り合いや仲間が増えるから |
| 4. 時間的に余裕があるから |
| 5. 義務だと思うから |
| 6. 参加しないと周りの目が気になるから |
| 7. 地区の人との付き合いを大事にしたいから |
| 8. 人に頼まれたから |
| 9. その他（ |
| ） |

3つまで
お答えください

② 「参加していない」「どちらかというに参加していない」とご回答頂いた方

1. 仕事・学業等で時間的に余裕がない
2. お金がかかりそうだから
3. 人間関係が面倒そうだから
4. 知り合いがいないから
5. 体力がないから
6. 自分では役に立たないと思うから
7. 家族が参加しているから
8. 興味がないから
9. 意見を聞いてもらえないから
10. 地域活動に参加する意義を感じないから
11. その他

3つまで
お答えください



(3) まちづくりの「大切さ」「満足度」について教えてください。

問 11 次のテーマ・内容についてあなたがこれから先のまちづくりには「大切だ」と思うもの、そして地区の現状や取り組み、町の施策への「満足度」を教えてください。

① 高齢者の健康と長生きに関すること

(キーワード 健康づくり、買い物・通院等の支援、見守り、配食サービス等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

② 子育て支援等、子どもに関することについて

(キーワード 親同士の交流、子ども会、登下校の見守り等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

③ 自分たちの住んでいる地区の環境について

(キーワード 草刈り、側溝そうじ、公園・河川・集会所等の美化)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

④ 生きがい、趣味等の活動について

(キーワード 地区でのスポーツ活動(運動会等)、趣味の教室、サークル活動等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

⑤ 空き家、耕作放棄地等のことについて

(キーワード 維持管理、活用、持ち主や状況の把握、空き家バンク、あっせん等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

⑥ 防災、防犯、交通安全等「安全・安心」に関わることについて

(キーワード 地震、水害、火事、避難訓練、交通マナー等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

⑦ 地区でのコミュニケーションについて

(キーワード 地区での付き合い、回覧板、掲示板、広報誌等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

⑧ 地区の魅力を見つけ、世代や地区を越えて発信することについて

(キーワード 特産物、収穫体験、史跡、自然環境等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

⑨ 地区の伝統を守り、伝えることについて

(キーワード 祭り、祭礼、年中行事、伝統行事、芸能等)

大切だと思うか	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
満足しているか	1. 満足だ	2. 満足ではない	3. わからない

(4) あなたは今後もこの地区に住み続けたいですか？

問 12 あなたはこの地区に**今後も住み続けたい**と思いますか？

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

よろしければ、その理由をお聞かせください（自由記載）

--

問 13 あなたは自分の子どもにもこの地区に住んでほしいと思いますか？（子どもがいない方も「もし子どもがいたら」と考えてお答えください）

1. そう思う 2. 思わない 3. わからない

よろしければ、その理由をお聞かせください（自由記載）

--

問 14 あなたはこの地区に**愛着**がありますか？

1. ある 2. ない 3. わからない

よろしければ、その理由をお聞かせください（自由記載）

--

問 15 地区での暮らしや地域活動・事業等についてお感じのことやご意見ご提案をご自由にお書きください。(自由記載)



アンケートは以上です。この度はお忙しいところ貴重な時間を割いてアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートの集計・分析結果は後日報告会を開催させていただき、みなさんに報告させていただきます。ぜひそちらもご参加をよろしくお願いいたします。

ver0.13

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

度数分布表

[データセット1] D:\dropbox\Dropbox\皇 學 館\R01TMKミライデザイン\まちづくりアンケート\集計\全体\2019全体.sav

度数テーブル

性別

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	女性	158	50.2	50.2	50.2
	男性	157	49.8	49.8	100.0
	合計	315	100.0	100.0	

年齢

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10歳代	19	6.0	6.0	6.0
	20歳代	16	5.1	5.1	11.1
	30歳代	43	13.7	13.7	24.8
	40歳代	44	14.0	14.0	38.7
	50歳代	33	10.5	10.5	49.2
	60歳代	73	23.2	23.2	72.4
	70歳代	56	17.8	17.8	90.2
	80歳代以上	31	9.8	9.8	100.0
	合計	315	100.0	100.0	

同居人数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1人	9	2.9	2.9	2.9
	2人	54	17.1	17.1	20.0
	3人	79	25.1	25.1	45.1
	4人	105	33.3	33.3	78.4
	5人以上	68	21.6	21.6	100.0
	合計	315	100.0	100.0	

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

居住地域

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	宮古	170	54.0	54.0	54.0
	岡出	1	.3	.3	54.3
	岩出	144	45.7	45.7	100.0
	合計	315	100.0	100.0	

農業

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	42	13.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	273	86.7		
合計		315	100.0		

林業

		度数	パーセント
欠損値	システム欠損値	315	100.0

漁業

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	1	.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	314	99.7		
合計		315	100.0		

自営業

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	25	7.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	290	92.1		
合計		315	100.0		

会社員

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	78	24.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	237	75.2		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

公務員・団体職員

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	13	4.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	302	95.9		
合計		315	100.0		

パート・アルバイト

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	42	13.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	273	86.7		
合計		315	100.0		

専業主婦・主夫

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	36	11.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	279	88.6		
合計		315	100.0		

中学生

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	7	2.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	308	97.8		
合計		315	100.0		

高校生

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	8	2.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	307	97.5		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

大学生・短大・専門学校

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	5	1.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	310	98.4		
合計		315	100.0		

無職

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	63	20.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	252	80.0		
合計		315	100.0		

その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	12	3.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	303	96.2		
合計		315	100.0		

困りごと・食事

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	29	9.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	286	90.8		
合計		315	100.0		

庭作業等

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	49	15.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	266	84.4		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

農地山林の維持管理

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	96	30.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	219	69.5		
合計		315	100.0		

日常的な相談

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	6	1.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	309	98.1		
合計		315	100.0		

看病や世話

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	12	3.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	303	96.2		
合計		315	100.0		

健康面の不安

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	61	19.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	254	80.6		
合計		315	100.0		

緊急時の相談先

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	7	2.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	308	97.8		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

災害への備え

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	49	15.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	266	84.4		
合計		315	100.0		

運転

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	18	5.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	297	94.3		
合計		315	100.0		

移動手段

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	23	7.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	292	92.7		
合計		315	100.0		

生活道路など環境整備

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	18	5.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	297	94.3		
合計		315	100.0		

買い物

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	13	4.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	302	95.9		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

金融機関

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	9	2.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	306	97.1		
合計		315	100.0		

福祉サービス

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	8	2.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	307	97.5		
合計		315	100.0		

地域医療体制

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	33	10.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	282	89.5		
合計		315	100.0		

子育て環境

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	7	2.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	308	97.8		
合計		315	100.0		

集まれる場所

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	16	5.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	299	94.9		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

通学が不便

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	23	7.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	292	92.7		
合計		315	100.0		

小学校が少人数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	22	7.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	293	93.0		
合計		315	100.0		

進学に関すること

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	12	3.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	303	96.2		
合計		315	100.0		

結婚に関すること

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	12	3.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	303	96.2		
合計		315	100.0		

雇用

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	36	11.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	279	88.6		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	12	3.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	303	96.2		
合計		315	100.0		

主な交通手段

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	自動車	246	78.1	85.1	85.1
	バイク・原付	6	1.9	2.1	87.2
	路線バス	1	.3	.3	87.5
	自転車	20	6.3	6.9	94.5
	徒歩	3	1.0	1.0	95.5
	元気バス	3	1.0	1.0	96.5
	JR	4	1.3	1.4	97.9
	その他	6	1.9	2.1	100.0
	合計	289	91.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	26	8.3		
合計		315	100.0		

地域活動にへの興味

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	興味あり	159	50.5	52.1	52.1
	興味なし	146	46.3	47.9	100.0
	合計	305	96.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	10	3.2		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

地域活動への参加

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加している	68	21.6	22.1	22.1
	どちらかというに参加している	81	25.7	26.4	48.5
	どちらかというに参加していない	56	17.8	18.2	66.8
	参加していない	102	32.4	33.2	100.0
	合計	307	97.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	8	2.5		
合計		315	100.0		

やりがいがあるから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	26	8.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	289	91.7		
合計		315	100.0		

誰かの役に立てるから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	48	15.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	267	84.8		
合計		315	100.0		

知り合いや仲間が増えるから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	51	16.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	264	83.8		
合計		315	100.0		

時間的に余裕があるから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	28	8.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	287	91.1		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

義務だと思うから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	55	17.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	260	82.5		
合計		315	100.0		

参加しないと周りの目が気になるから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	25	7.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	290	92.1		
合計		315	100.0		

地区の人との付き合いを大事にしたいから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	100	31.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	215	68.3		
合計		315	100.0		

人に頼まれたから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	24	7.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	291	92.4		
合計		315	100.0		

その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	4	1.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	311	98.7		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

仕事・学業等で時間的に余裕がない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	69	21.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	246	78.1		
合計		315	100.0		

お金がかかりそうだから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2	.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	313	99.4		
合計		315	100.0		

人間関係が面倒そうだから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	33	10.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	282	89.5		
合計		315	100.0		

知り合いがいないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	11	3.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	304	96.5		
合計		315	100.0		

体力がないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	38	12.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	277	87.9		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

自分では役に立たないと思うから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	16	5.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	299	94.9		
合計		315	100.0		

家族が参加しているから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	21	6.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	294	93.3		
合計		315	100.0		

興味がないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	41	13.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	274	87.0		
合計		315	100.0		

意見を聞いてもらえないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2	.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	313	99.4		
合計		315	100.0		

地域活動に参加する意義を感じないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	7	2.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	308	97.8		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	20	6.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	295	93.7		
合計		315	100.0		

重要度・高齢者の健康と長生きに関すること

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	252	80.0	81.8	81.8
	その思わない	10	3.2	3.2	85.1
	わからない	46	14.6	14.9	100.0
	合計	308	97.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	2.2		
合計		315	100.0		

満足度・高齢者の健康と長生きに関すること

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	54	17.1	18.1	18.1
	満足ではない	86	27.3	28.9	47.0
	わからない	158	50.2	53.0	100.0
	合計	298	94.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	17	5.4		
合計		315	100.0		

重要度・子育て支援等、子どもに関することについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	230	73.0	79.3	79.3
	その思わない	10	3.2	3.4	82.8
	わからない	50	15.9	17.2	100.0
	合計	290	92.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	7.9		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

満足度・子育て支援等、子どもに関することについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	49	15.6	17.5	17.5
	満足ではない	66	21.0	23.6	41.1
	わからない	165	52.4	58.9	100.0
	合計	280	88.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	35	11.1		
合計		315	100.0		

重要度・自分たちの住んでいる地区の環境について

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	261	82.9	84.5	84.5
	その思わない	14	4.4	4.5	89.0
	わからない	34	10.8	11.0	100.0
	合計	309	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	1.9		
合計		315	100.0		

満足度・自分たちの住んでいる地区の環境について

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	114	36.2	38.3	38.3
	満足ではない	85	27.0	28.5	66.8
	わからない	99	31.4	33.2	100.0
	合計	298	94.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	17	5.4		
合計		315	100.0		

重要度・生きがい、趣味等の活動について

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	202	64.1	66.4	66.4
	その思わない	32	10.2	10.5	77.0
	わからない	70	22.2	23.0	100.0
	合計	304	96.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	3.5		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

満足度・生きがい、趣味等の活動について

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	58	18.4	19.6	19.6
	満足ではない	77	24.4	26.0	45.6
	わからない	161	51.1	54.4	100.0
	合計	296	94.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	19	6.0		
合計		315	100.0		

重要度・空き家、耕作放棄地等のことについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	210	66.7	72.4	72.4
	その思わない	15	4.8	5.2	77.6
	わからない	65	20.6	22.4	100.0
	合計	290	92.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	7.9		
合計		315	100.0		

満足度・空き家、耕作放棄地等のことについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	13	4.1	4.6	4.6
	満足ではない	117	37.1	41.8	46.4
	わからない	150	47.6	53.6	100.0
	合計	280	88.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	35	11.1		
合計		315	100.0		

重要度・防災、防犯、交通安全等「安全・安心」に関わることについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	263	83.5	89.2	89.2
	その思わない	6	1.9	2.0	91.2
	わからない	26	8.3	8.8	100.0
	合計	295	93.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	20	6.3		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

満足度・防災、防犯、交通安全等「安全・安心」に関わることに
ついて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	38	12.1	13.4	13.4
	満足ではない	116	36.8	40.8	54.2
	わからない	130	41.3	45.8	100.0
	合計	284	90.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	31	9.8		
合計		315	100.0		

重要度・地区でのコミュニケーションについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	236	74.9	79.7	79.7
	その思わない	26	8.3	8.8	88.5
	わからない	34	10.8	11.5	100.0
	合計	296	94.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	19	6.0		
合計		315	100.0		

満足度・地区でのコミュニケーションについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	123	39.0	42.9	42.9
	満足ではない	63	20.0	22.0	64.8
	わからない	101	32.1	35.2	100.0
	合計	287	91.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	28	8.9		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

重要度・地区の魅力を見つけ、世代や地区を越えて発信することについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	202	64.1	69.2	69.2
	その思わない	22	7.0	7.5	76.7
	わからない	68	21.6	23.3	100.0
	合計	292	92.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	23	7.3		
合計		315	100.0		

満足度・地区の魅力を見つけ、世代や地区を越えて発信することについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	47	14.9	16.5	16.5
	満足ではない	62	19.7	21.8	38.4
	わからない	175	55.6	61.6	100.0
	合計	284	90.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	31	9.8		
合計		315	100.0		

重要度・地区の伝統を守り、伝えることについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	208	66.0	70.5	70.5
	その思わない	33	10.5	11.2	81.7
	わからない	54	17.1	18.3	100.0
	合計	295	93.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	20	6.3		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

満足度・地区の伝統を守り、伝えることについて

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足だ	68	21.6	23.9	23.9
	満足ではない	86	27.3	30.3	54.2
	わからない	130	41.3	45.8	100.0
	合計	284	90.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	31	9.8		
合計		315	100.0		

あなたはこの地区に今後も住みたいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	185	58.7	61.1	61.1
	その思わない	41	13.0	13.5	74.6
	わからない	77	24.4	25.4	100.0
	合計	303	96.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	3.8		
合計		315	100.0		

あなたは自分の子どもにもこの地区に住んでほしいと思いますか？
(子どもがいない方も「もし子どもがいたら」と考えてお答えください)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	146	46.3	48.5	48.5
	その思わない	61	19.4	20.3	68.8
	わからない	94	29.8	31.2	100.0
	合計	301	95.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	14	4.4		
合計		315	100.0		

R0 下外城田地区まちづくりアンケート 単純集計

あなたはこの地区に愛着がありますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	181	57.5	60.3	60.3
	その思わない	42	13.3	14.0	74.3
	わからない	77	24.4	25.7	100.0
	合計	300	95.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	4.8		
合計		315	100.0		

玉城町が下外城田地区の未来を考える事業を昨年度から行っていることを知っていましたか

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知っていた	117	37.1	41.1	41.1
	知らなかった	168	53.3	58.9	100.0
	合計	285	90.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	30	9.5		
合計		315	100.0		

TMK ミライデザインプロジェクト

玉城町 平成 31 年度 第 11 号下外城田地区明るい未来づくりに関する調査研究業務報告書

令和 2 年 3 月 15 日 発行

発行者 皇學館大学教育開発センター 准教授 池山 敦
